

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 英国代表チーム事前キャンプ受け入れに向けた取組状況について

I-1 英国オリンピック代表チーム事前キャンプ受け入れに係るこれまでの取組状況

- 平成27年3月30日 日本オリンピック委員会(JOC)と本市はパートナー都市協定を締結
- 7月 JOCから本市の施設を各国オリンピック委員会の視察受入への協力要請
- 8月 英国オリンピック委員会(BOA)が等々力陸上競技場を視察
BOAがJOCに事前キャンプの意向を提案
- 10月 BOAが等々力陸上競技場等を視察。CEOスウィニー氏と福田市長が会談
- 平成28年1月20日 川崎・横浜両市による事前キャンプ受け入れ共同発表
- 2月8日 BOAと事前キャンプ受け入れに向けた覚書を締結
- 8月初旬 英国チームリオ大会事前キャンプ地をオリンピック・パラリンピック推進室職員が視察
- 10月5日 BOAが等々力陸上競技場等を視察。協定締結に向けた協議を実施
- 19日 福田市長をはじめとする本市視察団がBOAを訪問。事前キャンプに関する意見交換を実施

平成28年2月8日締結「事前キャンプ実施に関する覚書」について

- 事前キャンプ受け入れに関するBOA、JOC、横浜市、川崎市、慶應義塾大学のパートナーシップを確認する内容
- 本市の事前キャンプ施設としては等々力陸上競技場を想定している
- 平成28年内を目途に施設利用に関する条件の合意(協定締結)を目指すこととしている



ナショナルトレーニングセンター(北区)で行われた覚書締結式

I-2 本市におけるBOA事前キャンプの実施計画内容

平成28年2月の覚書締結に先立ちBOAが提案した事前キャンプ計画では、陸上は本市の等々力陸上競技場を中心に、競泳等は横浜国際プール、慶應義塾大学日吉キャンパスは体育館競技の実施が基本となっている。

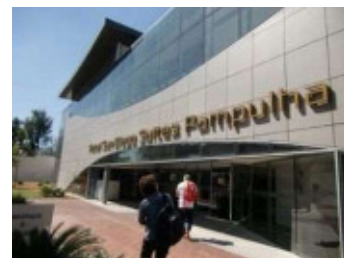
【本市への提案(27年度)】

- 利用施設: 等々力陸上競技場
- 競技種目: トラック競技及び投擲競技
- 利用期間: 平成32(2020)年7月16日から8月4日まで
- その他: スポーツ、文化など様々な分野での英国と本市との交流を検討

リオ大会での事前キャンプの実施結果を踏まえ、拠点施設を集中させ、効率的にキャンプを運営することを重視

【現在のBOAの意向】

- 陸上以外の競技についても川崎市の施設(等々力陸上競技場)を使用したいとの申し入れ
- 実施競技により本市における事前キャンプ期間は流動的(事前キャンプ全体の期間は7月5日～8月4日)
- 屋内競技施設は慶應義塾大学のほか、とどろきアリーナも選択肢の一つとなっている
- 練習施設と併せて、利便性の高い場所に宿泊施設を確保することが大きな課題と捉えている



リオ大会における英国オリンピック代表チーム事前キャンプ施設。複数競技団体が1都市3施設に集中し(各練習施設と宿泊施設の間はシャトルバスで10分程度) TeamGBとしての一体感のもと事前キャンプを実施した。

I-3 英国オリンピック代表チーム事前キャンプ受け入れに伴う交流事業について

英国代表チームの事前キャンプ受け入れを本市のレガシー形成につなげていくため、英国代表チームと市民との交流事業や「おもてなし」、さらには事前キャンプ受け入れに向けた気運醸成のための取組を進めていく。

【検討中の交流事業】

- TeamGB(英国代表チーム)講演会の開催
- BOAとのコラボレートグッズの製作
- 事前キャンプ公開練習日の設定
- TeamGBコーチや選手による陸上教室
- 音楽等を通じた英国との文化交流
- 英国講座の開催による英国文化の理解促進
- キャンプ施設内での川崎市の魅力発信 など



リオ大会事前キャンプでは、事前キャンプ施設においてコラボウェアを販売。また、地元文化施設とTeamGBの共催による文化イベントなども開かれた

II 英国パラリンピック代表チーム事前キャンプについて

平成27年度に英国パラリンピック委員会(BPA)が2回に渡り本市施設(等々力陸上競技場、とどろきアリーナ、富士通スタジアム川崎)を視察している。また、10月の英国視察においてBPAを訪問し、本市での事前キャンプ受け入れに向けた意見交換を実施した。

【BPAの意向】

- 陸上競技は川崎、水泳は横浜でという基本的な方向性
- その他の競技については今後各競技団体と調整
- 練習施設のバリアフリー状況とともに、施設へのアクセス手段(選手の移送)、宿泊施設(100人単位の車いすユーザーが利用できる)の確保を重視
- 競技によってニーズが多様であり、キャンプ本番前に練習施設・宿泊施設共にテストすることも重視



ロンドン BPA 事務所を訪問。BPAのCEOティム・ホリングスワース氏と福田市長が事前キャンプ受け入れに向けて意見を交わした



リオ大会でBPAが選手の移送等に使用した車両。車いすのまま乗車できるよう、改造されている。



III 今後の協議事項・検討課題

- 事前キャンプ実施競技、使用施設の絞り込みに向けた協議
- 事前キャンプ使用期間内の関係団体や市民との利用調整
- 移送や警備、ボランティアの確保等に関する検討